

平成 27 年度第 2 回浦安市学校給食センター運営委員会の開催報告

- 1 開催日時 平成 27 年 11 月 19 日（木曜日）午前 11 時～午後 1 時
- 2 開催場所 浦安市千鳥学校給食センター 2 階会議室
- 3 出席者等
 - (1) 出席者（委員） 加藤会長、山高副会長、下田委員、五十嵐委員、岸本委員、坂本委員、竹田委員、渡邊委員、新矢委員、米澤委員、田邊委員 11 名
（事務局）鈴木教育総務部長、佐久間教育総務部次長、佐藤教育総務次長、柴田保健体育安全課長
第一・第二調理場 長島所長、板倉副主幹、鈴木副主査、宇都木栄養士、柳沢栄養士
第三調理場 宮崎副主幹、新井副主査、山上栄養士
 - (2) 欠席 4 名
 - (3) 傍聴人 無
- 4 議 題
 - (1) 第一調理場施設紹介用DVD鑑賞
 - (2) 平成 27 年度学校給食安心対策事業の検査結果
 - (3) 平成 27 年度学校給食用食材放射性物質検査事業（4 月から 10 月）の検査結果
 - (4) 平成 27 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 10 月）の報告
 - (5) 学校給食用牛乳の容器変更と飲み残し処理
 - (6) 小学校給食の喫食
 - (7) 見明川小学校の視察
 - (8) その他
- 5 会議経過

教育総務部長の挨拶の後、議事に入った。概要は次のとおり。

 - (1) 第一調理場施設紹介用DVD鑑賞を行った。
委員からの質疑は特になし。
 - (2) 平成 27 年度学校給食安心対策事業の検査結果について事務局より説明をした。
委員からの質疑は特になし。
 - (3) 平成 27 年度学校給食用食材放射性物質検査事業（4 月から 10 月）の検査結果について事務局より説明をした。
委員からの質疑は特になし。
 - (4) 平成 27 年度学校給食の提供に伴う異物混入（4 月から 10 月）の報告について事務局より説明をした。
委員からの質疑は特になし。
 - (5) 学校給食用牛乳の容器変更と飲み残し処理について事務局より説明をした。
委員からの質疑は次のとおり。

（委員） 牛乳の量について 1 年生から 6 年生まで同じ量であり、1 年生では量が多いと思っ

ているが、減らすことができるのか。

(事務局) 牛乳については全て 200CC であり、1 本飲んでお腹にたまり、給食残滓が増えることも考えられるが、ビン・パックにしても容器の関係から調整が出来ないので難しい。

(意見) 和食には牛乳があわないと思うが、紙パックは個人的には賛成です。

(6) 事務局より献立の説明後、小学校用給食の喫食をした。

(7) 見明川小学校の視察をした。

委員からの質疑は次のとおり。

(委員) 学校給食での野菜の残滓が多いと聞いたが、残滓がどうして多くなってしまうのか、今日の視察では、児童達は頑張って野菜を食べていると思った。

(事務局) 学校給食では栄養摂取基準を基にして献立を考えている。

その中で野菜を沢山使った場合、食べやすい工夫をしているが、肉と違い野菜では、残滓が多くなる傾向である。

給食センターでは今年度から、栄養士等により学校訪問を強化し、食の大切さを啓発している。

(意見) 学校現場では、各学校の残滓量が給食センターから届き、そのデータを校長から給食主任に伝え、更に各担任から児童に「給食の残滓を減らそう」と呼びかけをしている。

また、児童が自主的に「給食を残さず食べましょう」と放送し、最近では給食残滓が減ってきたと感じている。

(事務局) 本市の給食残滓率については、これまで数値を各学校に通知していなかった。

今年度より給食の残滓量について数値で示した結果、各学校で問題意識を持って、本日の視察の際には、子供たちに給食の食べ残し調査と思われ、「食べ残し無いよ」と言われた。

給食センターは1万食以上の給食を提供している。

委員からの貴重なご意見をいただき、今後の運営に活かしていきたいと考えている。

(事務局) 給食を残さず食べるというクラス目標を、掲げての取り組みを行う際は、アレルギーを持つ児童・生徒への配慮も忘れてはならないと考えている。

(委員) どのようなメニューで給食残滓が増えるのか。

(事務局) 主に和え物が多く残っている。

(事務局) 今年度の1学期で人気のないメニューについては、和え物系の中でも、切り干し大根、ひじき、海藻のメニューの場合には残滓量が増加傾向となっているが、これらの食材を食べないと栄養バランスが取れない。

(意見) この食材は家庭でも苦労している。

(意見) 乾物は家庭で、積極的に使う家庭とまったく使わない家庭と二極化すると考えられるが、食べ慣れていないのも給食を残す原因じゃないかと思うが委員の家庭では、いかがでしょうか。

(意見) 家庭では野菜は大嫌いで食べていないが、学校では負けず嫌いなので、野菜は食べていると聞いており、ひじきは、家ではごはんにのせて食べている。

(意見) 家では煮物は豚肉と一緒に混ぜると食べるが、学校給食では煮物も食べている。

(事務局) 新聞では小学校5年生の好きな給食は、カレーライス、パン、麺類、デザート、揚げ物、嫌いな給食は、野菜類サラダ、魚介類、炒めもの、スープ汁物で全国的な問題となっている。

家庭では子供の好きな食材を食べさせる傾向が強く、野菜や魚の食わず嫌いが目立ち、学校だけではなく家庭でも食の大切さを教える必要があると思う。

給食で食べると美味しいと感じ、食は1人ではなく沢山で食べると美味しく感じられることもあり、その辺が給食の良さではないのかと考える。

(8) その他について事務局より今後の会議スケジュール説明をした。

委員からの質疑は特になし。

以上